

施策評価調書(元年度実績)

				施策コード	Ⅲ-2-(2)			
政策体系	施策名	芸術文化ゾーンを核としたネットワークづくり	所管部局名	企画振興部			長期総合計画頁	139
	政策名	芸術文化による創造県おおいとの推進	関係部局名	企画振興部、教育庁				

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	芸術文化ゾーンを核とした取り組み	芸術文化の創造性を生かした行政課題への対応	芸術文化を生かした地域づくりの推進

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する 取組No.	基準値		元年度			6年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125	
i	子どもたちが芸術文化に触れる機会(人)	①②③	H26	11,896	12,500	14,318	114.5%	13,750					

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i	達成	県立美術館の教育普及事業、NPO法人大分県芸術文化振興会議の文化キャラバン、公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団が実施する学校訪問コンサート等による芸術家のアウトリーチ活動を実施した結果、目標値を達成した。	達成

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・県立美術館においてラグビーワールドカップの大分開催に合わせた企画展(The Ukiyo-e 歌川派、日本の美意識-刀剣と金工-)とともに、出場国のウェールズの美術を紹介する「The Art of Wales」を開催するなど、多様な事業を展開した。
②	・芸術文化に触れる場づくりを推進するため、福祉施設や学校など9施設にアーティストを派遣してワークショップを開催した。 ・文化庁所属高校生による文化体験講座を小・中・特別支援学校生向けに開催し、多くの子どもたちが芸術文化に触れる機会を創出した。(延べ26校、483人が参加)
③	・別府市内において、世界的アーティスト、アニッシュ・カプーア氏の作品展示や文化・芸術に関するイベントを集めた市民文化祭ベップアートマンスを開催することで、国内外に情報発信するとともに、地域の魅力増進を図った。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(元年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	芸術文化ゾーン拠点創出事業	106.5	298
②③	芸術文化による地域おこし事業	132.2	298

【VI. 施策に対する意見・提言】

○「安心・活力・発展プラン2015」中間見直し委員会 第2回発展部会(R1.6) ・本物に触れるということに大きな意味があり、そのための機会を多くつくってほしい。	○「安心・活力・発展プラン2015」中間見直し委員会 第4回総合部会(R1.10) ・小中学校等への芸術文化に触れる機会の創出は重要。
--	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	・大分県立美術館とiichiko総合文化センターを芸術文化ゾーンの核として、県内各地の様々な取り組みとのネットワークの構築を図るとともに、芸術文化の創造性を活用した教育、産業、福祉分野等での取り組みを進める。 ・文化体験講座の参加対象を拡大し、より多くの子どもたちが芸術文化に触れる機会の充実を図る。 ・文化活動を通じた相互理解の促進に向けて、共同制作等を通じた特別支援学校と県立高校との同世代交流を進める。